

意識して習慣化、

そして、ちょっとした我慢

六月一日（月）から分散登校がはじまり、六月十五日（月）からは通常登校となりました。三か月に及ぶ臨時休業期間（春季休業を含む）が終わり、学校が再開され、徐々に学校の教育活動を進めているところです。

一方で、マスクの着用や教室の換気、休み時間ごとの手洗い、机・椅子・ドアノブ等の消毒など、新型コロナウイルス感染症への感染予防対策を講じての教育活動は、生徒の皆さんにも、教職員にも今までとは違う学校を感じさせます。季節的にも、熱中症にも十分気を付ける必要があります。

そこで、これからの学校生活を送るにあたって、六月一日の始業式での話では、密閉・密集・密接の三密の回避を「意識」してほしいこと、そして、毎朝の検温やマスクの着用、話す相手との適切な距離などを「習慣化」することを生徒の皆さんにお願いしました。

さらに、六月十五日の全校集会では生徒の皆さんに意識と習慣化に加えて、「ちょっとした我慢」をお願いしました。学校生活を過ごすにあたって、今までは違う行動が求められます。自分の思うようにいかないことが出てきます。そのようなときには、生徒同士がお互いに少しの我慢をすることで、円滑な学校生活を送ることができ、引いては、学びの高まりにつながるものとなるでしょう。

「意識して習慣化、そして、ちょっとした我慢」で、一日も早く、本格的な学校再開となるように協力していただください。

◇ 学校再開に際して、本校の今年度の教育目標をお示しします。

校訓 至誠・明朗・友愛・自律

学校教育目標

自主・自律、思いやりの心をはぐくみ、知・徳・体に調和のとれた人間形成を図る

学校教育の重点

- ・「わかる喜び」「学ぶ楽しさ」が実感できる授業づくりに取り組む
- ・「生きる力」の礎となる感性や情操など、豊かな心をはぐくむ
- ・心身の健やかな成長を促す
- ・互いに尊重しあう集団、規律・活力のある集団の育成を図る

めざす生徒像

- ・意欲的に学習に取り組む生徒
- ・心と体の成長を図る生徒
- ・自他への思いやりのある生徒

アジサイの花のように見える部分は、花びらではなく葉が変形した萼（ガク）と呼ばれるものです。萼は別名「装飾花」と呼ばれ、色づいているので外見上は花びらのように見えます。アジサイの花言葉の一つ「辛抱強さ」はアジサイの花期の長さにちなみます。



（校舎裏の紫陽花の花が咲いています）